

研究実施のお知らせ

2017 年 6 月 20 日 ver. 1.0

研究課題名

糖尿病患者の歯周病についての理解度の解析と
保険薬局薬剤師が医科歯科連携に参画する有用性の検討

研究の対象となる方

糖尿病治療薬を処方されて保険薬局に来局し、同意を取得できた患者さんご本人

研究の目的・意義

平成 26 年に厚生労働省が行った調査によると歯肉炎および歯周疾患について継続的な治療を受けていると推定される患者数は日本国内で 331 万 5000 人でした。歯周病の罹患率については諸説がありますが、平成 23 年歯科疾患実態調査では日本国民の 70.8%に何らかの歯周病症状が認められ、このうち、治療が必要とされる中等度以上の歯周病症状は 29.8%と推定されました。平成 26 年度 10 月時点での日本の総人口は 1 億 2708 万 3000 人であるとされることから、治療が必要とされる程度の歯周病症状について継続的に治療を受けている人は 10%に満たないと考えられます。

しかし、これらは国民全体に対しての統計であって、歯周病は糖尿病の第 6 番目の合併症と言われ、虫歯と並び歯を失う 2 大原因とされていながらも、糖尿病患者さんについての明確な統計はなされていません。この事実を踏まえ、平成 26 年度に出雲市内の保険薬局にて糖尿病患者さんを対象に歯周病についての啓発を目的としてアンケート形式の療養指導が行われました。これにより集積したデータを用いて糖尿病患者さんの歯周病についての理解度と歯科受診率を明らかにし、保険薬局薬剤師が医科歯科連携に参画することの有用性を検討しようと考えています。

糖尿病患者さんの歯周病ケアについての認識を明らかにできれば、将来の患者さんに対して改めて歯科受診の必要性を伝えることができること、および、より効率的かつ効果的な啓発の手法を模索できる可能性が考えられます。

研究の方法

糖尿病患者さんを対象に以下のアンケートを実施しました。

糖尿病と歯周病(歯槽膿漏)の関係について	
記入日 (平成 年 月 日)	
I. 糖尿病患者さんは歯周病になりやすいことを知っていますか？ (1 よく知っている 2 知っている 3 あまり知らない 4 全く知らない)	
II. 歯周病を治療すると糖尿病の状態が良くなる場合があることを知ってますか？ (1 よく知っている 2 知っている 3 あまり知らない 4 全く知らない)	
III. 歯医者に行く時は自分が糖尿病であることを伝えたほうが良いと思いますか？ (1 必ず伝えたほうが良い 2 伝えたほうが良い 3 伝えなくても良い 4 伝えないほうが良い)	
IV. <u>食事の後の歯磨き以外に歯のお手入れを</u> こころがけていますか？ (例として・・・歯間ブラシや糸ようじなどを使って歯垢や食片を取り除く・・・など) (1 毎日している 2 時々 3 たまに 4 していない)	
V. 「歯磨きの時の出血」「歯が動く」「歯ぐきが赤く腫れている」「口臭が気になる」 などが目立つとき、歯周病の疑いがあることを知っていますか？ (1 よく知っている 2 知っている 3 あまり知らない 4 全く知らない)	
VI. 「V」の症状がありますか？ (1 ある 2 ない)	
VII. 歯科医院で定期的に(半年に一回程度)歯磨き指導や歯石除去を受けることが 歯周病予防に有効であることを知っていますか？ (1 よく知っている 2 知っている 3 あまり知らない 4 全く知らない)	
VIII. 定期的(半年に一回程度)に歯科医院を受診していますか？ (1 している 2 していない)	
このアンケートは糖尿病と歯周病へのご理解を深めて頂くためのものです。 <u>お答え頂いた患者様のお名前を伏せて結果を論文などで公表することがあります。</u> 同意頂ける方はご署名下さい。 署名_____	
最後に、薬局にはお薬に関する情報の他に、どのような情報があればよいと思いますか？ _____ _____	
お疲れさまでした。ご協力ありがとうございました。	

アンケートへの回答および処方箋、聞き取りから得られた情報を匿名化し集計した集計用紙より研究対象者の次のデータを収集します。

- 1) 年齢
- 2) 性別

- 3) 主治医が糖尿病専門医か否か
- 4) 使用されている治療薬の分類
- 5) アンケートの各設問への回答番号
- 6) 糖尿病教育入院の経験の有無 ※口頭により聞き取りができた場合のみ
- 7) HbA1c 値 ※口頭により聞き取りができた場合のみ

これらの情報から、糖尿病患者さん全体の歯周病についての認識、歯科受診状況を明らかにし、また、それについて主治医が糖尿病専門医であるか否かによって差異があるのかどうか、糖尿病教育入院の経験が有るか無いかによって差異があるのかどうか、HbA1c との相関があるのかどうか、定期的な歯科受診を継続するためには何が必要かを検証します。

収集データは匿名化し取り扱い、収集データは研究機関内にて保管します。
研究結果公表の際にも、個人の特定につながる可能性のある情報は一切使いません。

研究の期間

承認日～2020 年 7 月

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者(研究で利用する情報の管理責任者)

一般社団法人 島根県薬剤師会 高木康介

参加研究機関

手納医院 手納信一

島根大学医学部附属病院内分泌代謝内科 守田美和

一般社団法人 島根県薬剤師会 出雲支部「アンケート(療養指導)を行った機関」

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、**2017 年 8 月 31 日まで**にお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになられたい方、ご自身の情報を研究に利用し

てほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究代表者

一般社団法人 島根県薬剤師会 高木康介

やまだ薬局

〒693-0061 島根県出雲市姫原町 290-5

TEL: 0853-24-0137

携帯：090-4693-1330